

記入例

様式第1号（第6条関係）

令和4年×月×日

群馬県知事 山本 一太 様

郵便番号 371-8570
住 所 前橋市大手町×××
団 体 名 群馬キッチンカー団体
申請者名 群馬 太郎

ニューノーマル創出支援事業費補助金交付申請書

ニューノーマル創出支援事業費補助金交付要綱第6条第1項の規定に基づき、下記の書類を添えて申請します。

記

- 交付申請額 金 1,000,000円
- 添付書類
別表第2に記載されている書類
- 補助金受入口座

金融機関名 ○○銀行

本・支店名 ○○支店

口座 普通・当座

口座番号 12345678

フリガナ 群馬キッチンカー団体
口座名義 群馬キッチンカー団体

※申請者と口座名義人は一致させること。

補助事業計画書

1 申請者等の概要

(1) 申請者 (団体代表者)

代表者名	群馬 太郎	代表者の所属	群馬キッチンカー
電話番号	027-226-.....	E-mail	Gunma@----.com
連絡担当者	群馬 花子	連絡担当者所属	キッチンカー 前橋
電話番号	027-226-xxxx	E-mail	Maebashi@x.x.x.x.jp

(2) 団体の構成事業者

会社や店舗の名称	業種	所在地 (市町村から記入)	資本金及び 従業員数	認定番号 ※
(代表者欄) 群馬キッチンカー	飲食業	前橋市大手町xx	20万円 2人	0001
キッチンカー前橋	飲食業	前橋市表町xx	0円 1人	0002
群馬フードトラック	飲食業	高崎市相生町xx	0円 2人	0003
フードトラック渋川	飲食業	渋川市渋川xx	0円 3人	0004
			円 人	

※ストップコロナ！対策認定制度の認定番号

※記載内容が多い場合は、適宜、行数・ページ数を追加してください。

(3) 補助事業等の実績

構成事業者でこれまでに交付を受けた国等の補助金又は委託費の実績があれば記載してください。(事業実施中の案件を含め、過去3年間程度を目安に記載してください。助成金、給付金については、記載不要です。)

事業名称及び事業概要	令和二年度補正事業再構築補助金
事業主体 (関係省庁・独法等)	経済産業省
実施期間	令和x年x月x日～令和x年x月x日
補助金額・委託額	補助金額 1,000,000円
テーマ名	△△△事業
本事業との相違点	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
事業成果・実績	(直近の事業化段階：事業化済)
	※事業成果・実績期についても簡潔に記載 xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

※複数の補助金・委託費で採択された実績のある場合は、追加して全て記載してください。

2 補助事業計画

団体名	群馬キッチンカー団体
事業名	〇〇商店街内の空き店舗のシェアキッチン・チャレンジショップ整備・運営事業
事業タイプ	ソフト / ハード / <u>ソフト・ハード</u> (該当項目に〇を記入)
実施場所	〇〇商店街
実施期間	開始：令和4年8月1日 終了：令和5年2月15日
事業概要	<p>①事業目的 (新型コロナウイルス感染症の影響、地域の活性化につながる内容等を記載)</p> <p>当団体の各キッチンカーは、普段営業許可を得た各地域で営業している。キッチンカーのため、どこでも商品を販売することができるが、その反面、天候や出店場所に影響されやすく、安定して出店できる場所がない場合、リピートしてくれるお客さんを獲得しづらい。そのため、空き店舗を借りて、シェアキッチンとして整備し、定期的に出店できる店舗をもつことで新規顧客やリピート客の獲得、今までキッチンカーが故に挑戦できなかった商品の開発をすることができる。</p> <p>②事業内容 (ニューノーマルの視点から新たに取り組む地域の活性化に繋がる事業を記載)</p> <p>店舗を借りる場所は、〇〇商店街の空き店舗を想定しており、店舗を改装後は、構成事業者で、週替わりで店舗を運営していく。</p> <p>そこで、今までキッチンカーで提供していた料理をお店で食べるような料理に新たに商品開発して提供する。</p> <p>また、チャレンジショップとして、構成事業者以外からも有料での利用を受け入れる。</p> <p>周辺住民やサラリーマン層へ訴求させるため、SNSやポスターを活用して、出店店舗をPRする。</p> <p>③事業効果</p> <p>普段キッチンカーで出店できる範囲でしか活動できなかった事業者が、店舗で営業できるようになり、新規顧客獲得することができる。</p> <p>事業が軌道に乗ってきたら、従前からある商店街の店舗とコラボすることで、商店街の活性化にも寄与できる。</p> <p>さらに、チャレンジショップとして店舗を利用してくれた方が、商店街内で開業していただければ、商店街の空き店舗対策にもつながり、まちの活性化や開業支援に寄与することができる。</p>
事業計画の特徴	<p>※各審査項目に係る特徴や適合性等を記載してください。審査員が注目するポイントとなりますので、しっかり分かりやすく記載してください。</p> <p>①新規性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内にもシェアキッチンはいくつかあるが、通常のシェアキッチンと異なり、複数のキッチンカーが連携して実店舗で営業するスタイルは他に事例がない。 <p>②戦略性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の中の空き店舗を活用することで、まちの活性化に寄与する。

③実現性

・当補助金を活用して、店舗の整備を行うことで、初期費用が抑えられ、継続して運営することができる。

④継続性

・当事業は、初期費用が大きくかかるが、その後は、店舗運営による収益や利用者からの施設使用料を運転資金として補助事業年度終了後も長期にわたって運営することができる。

⑤モデル性

・本事業は、中心市街地の〇〇商店街で実施予定であるが、例え郊外であっても、空き店舗さえあれば、同様の事業を横展開することができ、まちの活性化や開業支援に寄与することができる。

3 収支計画

(1) 収入

項目	予算額	備考
県補助金	1,000,000 円	ニューノーマル創出支援事業費補助金
自己資金	570,000 円	
借入金	300,000 円	金融機関借入金
その他	円	
合計	円	

(2) 支出

経費区分		内 容	事業費 a	対象経費 b (税抜金額)	補助率	補助額 c (b×補助率)
ソフト事業	販路開拓・IT活用費	商品開発費	220,000 円	200,000 円		
	器具備品費	調理器具等 購入費	550,000 円	500,000 円		
	車両費		円	円		
	その他経費		円	円		
	小計			770,000 円		
ハード事業	器具備品費		円	円		
	車両費		円	円		
	車両改造費		円	円		
	その他経費	店舗改装費	1,100,000 円	1,000,000 円		
	小計			1,100,000 円		
合計			1,870,000 円	1,700,000 円	2/3	1,000,000 円 (千円未満切捨)

※記載内容が多い場合は、適宜、行数・ページ数を追加してください。

※消費税は補助対象外のため、対象経費は税別（本体価格）の金額を記入してください。（消費税額がわからない場合は 1.1 で割り戻した金額としてください。）

※補助額は、対象経費の合計金額の 3 分の 2 以内とし、1,000 円未満は切り捨ててください。

※ハード事業に係る経費は補助対象費全体の 3 分の 2 以内としてください。

誓約書

本団体は、ニューノーマル創出支援事業費補助金の申請にあたって、下記の事項について誓約します。
なお、群馬県が必要な場合には、群馬県警察本部に照会することについて承諾します。

なお、これに反する事実が判明したことにより補助金の交付の決定が取り消された場合には、交付された補助金を定められた期限内に全額返還することについて同意します。

- 1 団体を構成する事業者全てが本計画に賛同していること
- 2 団体を構成する事業者全てが「ストップコロナ！対策認定制度」に係る認定店舗を運営する事業者であること
- 3 申請事業について、国（国所管の独立行政法人等を含む）の他の補助金の交付を受けていないこと。
- 4 団体を構成する事業者全てが暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は暴力団員等でないこと
- 5 団体を構成する事業者全てが営業に関して必要な許認可等を取得していること。

団体名 群馬キッチンカー団体

申請者名（団体代表者） 群馬 太郎